

PHYSICAL INSTITUTE
NAGOYA UNIVERSITY
CHIKUSA-KU, NAGOYA, JAPAN

18日にLosにヒビ Jugaku さんに大変なお世話になっています。結局のところ Jugaku さんの Twin Bed のヒッをお借りになり、食事は Caffeteria を(大学の)利用しております。先週それが出来たところまで大変きれいなものです。

Prof. Walker から実際に仕事をしている人を紹介されて、2,3. 聞きましたが、先ず Walker の話から。彼は target にはゼム Liq. H₂ を使えと云っています。π-Machine に数ドル使ったのだから「せ」数ドルの Liq. H₂ 液化装置を買わないのかという意見です。それから Target としては Littauer type が大変安く水量の消費も少ないからゼムそれを使えと云う事を云っていました。今やっているのは Liq. H₂ target 及び Pb target で丁度我々のやろうとしているのと同じ事をやっています。前方の π° で Lab の角度で 30° からと、ています。det は 12" x 14" x 14" Pb glass 2ヶ Phototube は夫々に 5" のもの 9ヶづつ Veto Counter は Cosmic ray に対する anti です。横側にもおいていました。同時に K もやっています。π° の方ですか sweep mag を使っています。coincidence のてですが 10ns で現在は真空管ですがそれも transistor にかえる準備もしているようです。Back ground については T を 10ns にすれば問題はないが、こちらから 0.1μs ではどうだか聞きますと多分問題になるだろうと云っていました。Berkeley でもやりましたがどの coincidence T をみてもすべて ns で 0.1~0.01μs の間のものはどこにもありませんでした。こちらの synch のくがえしは 1/sec で上記の π°-28 の counting rate は 5~10/hour だと云っていました。pulse height の counter はやはり linear stretch で別の oscillation でその時間における山の数を scaler で計り、同時にオシロで写真をとっています。回路は図面をもらってきました。synchrotron と detector との間の absorber は思ったよりも少く、大体 concrete が 1~2 m. Pb 30cm Cu 30cm 位でした。多分 Background の少ないのは床面から高いことにもよるでしょう。target の位置は大体床面より 2m とおとです。

こちらでも大学院の学生と南米のコロンビアから来ている Dr. Gomez で spark counter をつくり、あり、仲々うまく一本だけのきれいな track がとれず spurious discharge が起るものから、さかんに教えてくれとくどくどと彼等の経験を話し、こうしたら良くなるのか、どうすると良いか等々結局 半日つぶされました。その大学院の学生は昼の食事もめんどい働かされておりました。月曜日は Walker は会議が多いというので昼からはいなくなりましたから彼等につかまされたわけですが、5時頃退散致しました。

書き遅れましたが Berkeley で聞いたのですが phototube は 6655A (type 名を忘れたのでまちがっているかも知れませんが、西川工人が云っていたもので A をつけたもの) が \$40 でそれが良いと云っていました。6342A(?) は \$50 です。それでは又。

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak